

## ティーチング・ステートメント

所属 工学部情報工学科

名前 荒澤 孔明

作成日 2022年3月10日

### 【責任】

工学部情報工学科に所属し、講義・演習科目（電子情報工学実験、フレッシュマンセミナー、コンピュータネットワーク演習、インターネット工学、電気電子回路）を担当している。また、1年生のクラス担任として、学生の学業成績や生活の指導、また保護者との面談などを行っている。その他、オープンキャンパスのスタッフとして、未来の北科大生に向けて大学での教育をアピールしている。

### 【理念】

学生には、教えた事以上の事に興味・関心を持ってもらいたい。なぜならば、我々の身の回りの情報技術は、次から次へと新しいものへ進化を遂げており、それらを後押しするITエンジニアには「常に上を目指し、高度な知識や技術に好奇心を持ち、自ら吸収しようとする能力」が求められているからである。私は、そのような人材育成を目指し、学生に継続的かつ主体的に学ぶ姿勢を身に付けてもらいたいと考えており、学ぶことを好きになってくれる教育の場を提供している。

### 【方針・方法】

学ぶことを好きであり続けるために必要な「学生の向上心やモチベーションの維持や向上」を狙い、以下3点の方針に基づいた教育を行っている。

#### 方針1：勉強したくなる教材を提供する

・教科書は使わずに、スライド資料を配布し、講義を行っている。スライドにはイラストや動きを多用するなど、堅苦しさが緩和された「また読み直したくなる資料」の作成を心掛けている【インターネット工学】。

#### 方針2：成果物や達成感が残る講義を行う

・授業の最後に、その日の講義内容とマッチした資格試験問題を出題し、資格取得に一步一步近づいている事を学生に実感させている【インターネット工学】。  
・レポートを課した際、提出期限より前であっても、ひと通り完成した段階で、仮採点の依頼を受け付けている。やったことを忘れてしまわないうちに、評価してあげることで「できた」や「分かった」という達成感をより強く実感させている【電気電子回路】。

#### 方針3：「やる気を掻き立てる」学生対応を行う

・学生に対しては、常に丁寧な対応を心がけており、また、時にはプライベートな話をするなど、いつでも気軽に相談できる雰囲気づくりを行っている。  
・小さな事でも、学生の褒めるポイントを見つけ、それを相手に伝えることで、自信を付けさせ、次の目標に向けて頑張る気持ちを奮い立たせている。

### 【成果・評価】

・科目代表をしたインターネット工学、電気電子回路の授業改善アンケートでは、それぞれ90%と72%の学生が「意欲的に取り組んだ」と解答しており、さらに自由記述欄には、公開された資料の分かりやすさが頭一つ抜けていた、パワーポイントが個性的で読みやす

かった（※原文ママ）などといったコメントが記載されていた【インターネット工学】。

・ほかの科目のレポート課題を教えてほしい、荒澤ゼミの所属ではないが就職面接に落ちたので励ましてほしい、といった問い合わせもあったことから「気さくな先生である」という認識が浸透しつつある。

・父母懇談会に参加した保護者から、よく対応してくれてますので引き続き宜しくお願いします（※原文ママ）といったコメントをいただいた。

#### 【目標】

・重要度（大/中/小）や資格試験の過去問での出題率などの情報も教材に加えることで、資料の可読性を高める（次年度の目標）。

・学生の理解度をこまめにチェックし、不十分な点を補足説明したり、前週の復習問題を課したりすることで、学生の専門知識や技術を増やし、情報処理に関連する資格取得者数を増やす（長期目標）